

児童生徒質問紙からみえてくる東員町の子どもたち



東員町



三重県

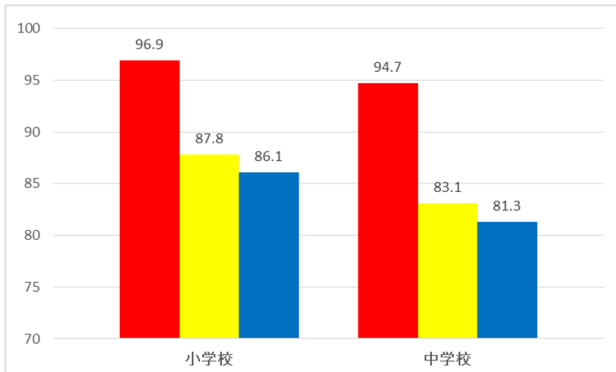


全国

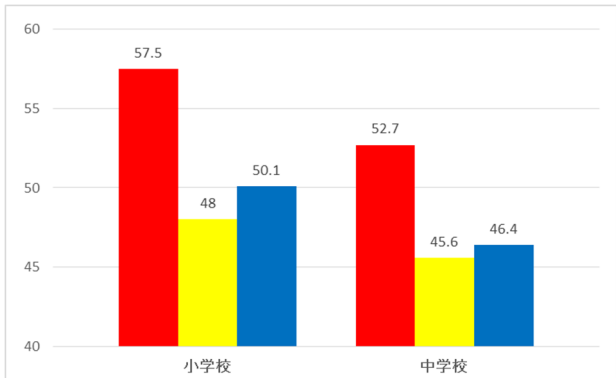
16年一貫教育プラン（3感 EDUCATION）に関すること

【基本的信頼感】

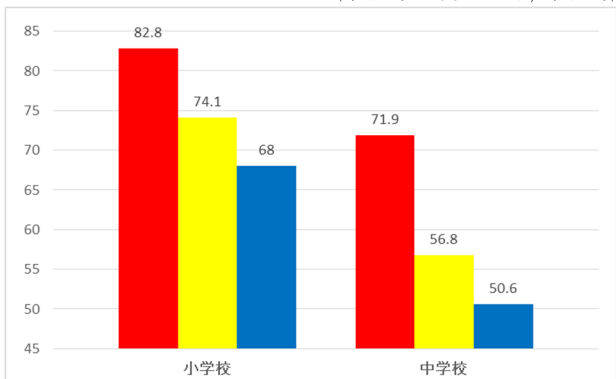
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか
(している)

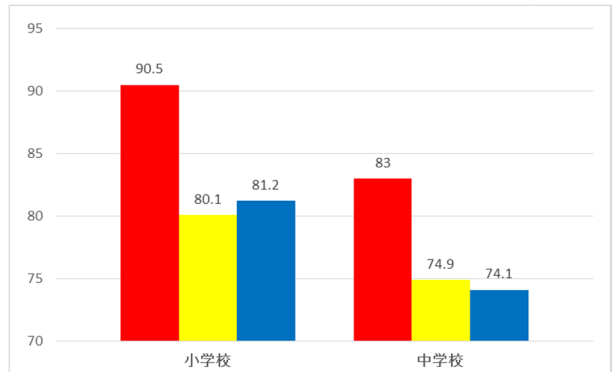


今住んでいる地域の行事に参加していますか
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



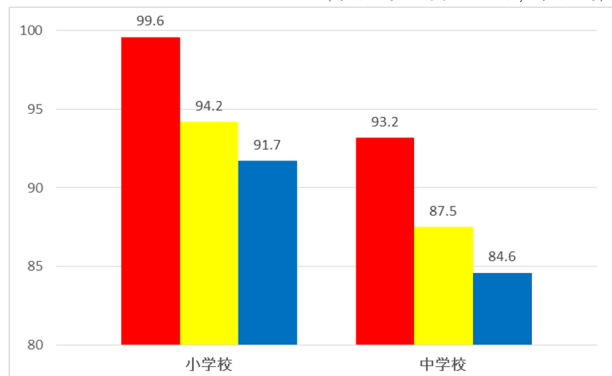
【自己肯定感】

自分には、よいところがあると思いますか
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

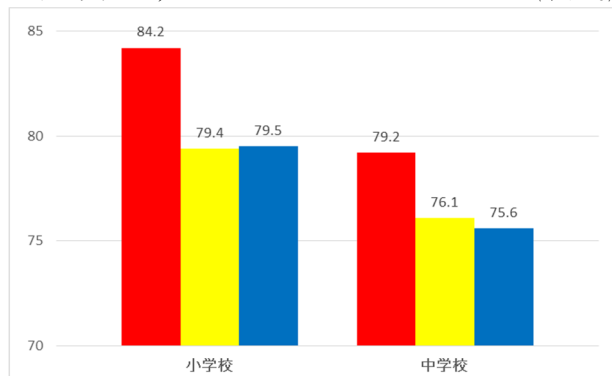


【自己有能感・GRIT（やりぬく力）】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

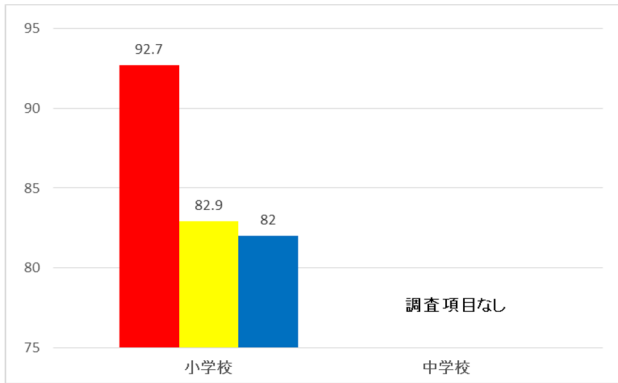


ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか
(当てはまる)



算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



「16年一貫教育プラン」の基本的信頼感は、子どもが発達段階に応じた成長を重ね、発達課題を乗り越えていく上で、大きな土台となるものです。そして、子どもが基本的信頼感を育むために必要となる基本的な相手とは、家庭ではお母さん・お父さん、園・学校では保育者や教師です。

今回の結果から、全国や県と比べても、子どもが親や教師と話せる関係が築けている子どもの割合は多く、また親や教師が自分の頑張る姿を認め、温かく見守ってもらえているという安心感の中で、東員町の子どもたちは生活できているといえます。

地域行事への参加や地域の大人との関わりは、毎年度、全国や県と比べて肯定的な回答が多く見られます。このことは、地域に自分の居場所があり、地域の方との関わりを通して、多くのことを学び、愛されて育てている証拠といえます。

東員町の子どもも多くは、自分にはよいところがあると、自分を肯定的に捉えています。これは、家庭や園で乳幼児期から育まれた基本的信頼感のもと、学校教育で対話を通して友達と関わり合い学び合う中で、「自分や友達は大切な存在である」と思える自己肯定感がしっかりと育まれている証拠といえます。

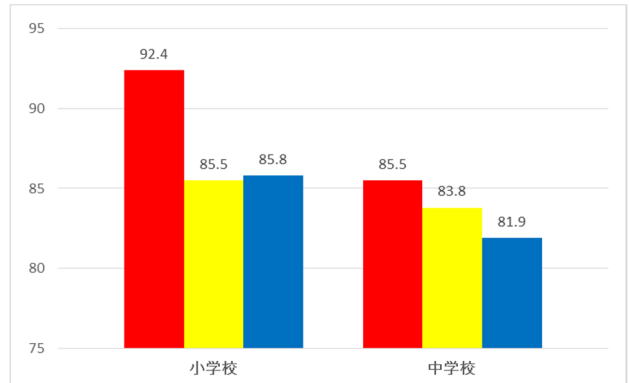
東員町では、学校生活の中で様々な失敗と成功体験を繰り返し、困った時やわかかならない時は他者依存しながら、相互理解・相互尊重できる力を育んでいます。

全国や県と比較しても、難しい課題にも諦めずに最後までやりきる力(GRIT)がついてきているといえます。諦めず最後まで頑張る経験や、先生や友達を頼りながら課題を乗り越える経験を通して、満足感や達成感を味わっている子どもが多いといえます。このことは、「頑張れば自分も出来る、きつとうまくいく」という自信となり、困難なことにも前向きに挑戦しようとする自己有能感に繋がっています。

【意欲】

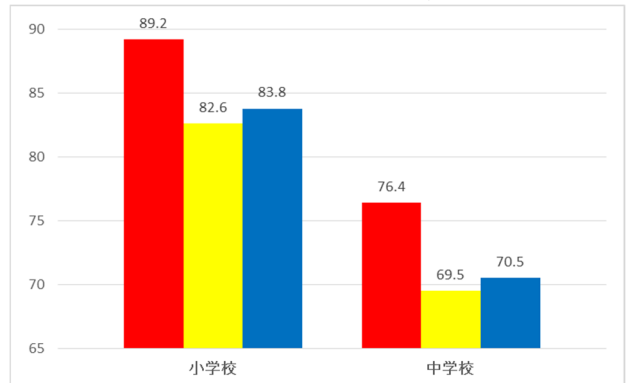
学校に行くのは楽しいと思えますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



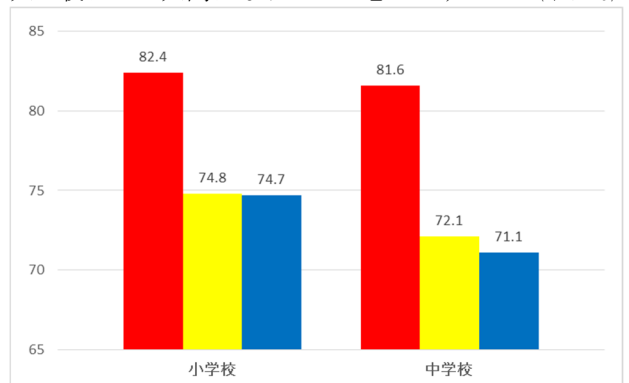
将来の夢や目標を持っていますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



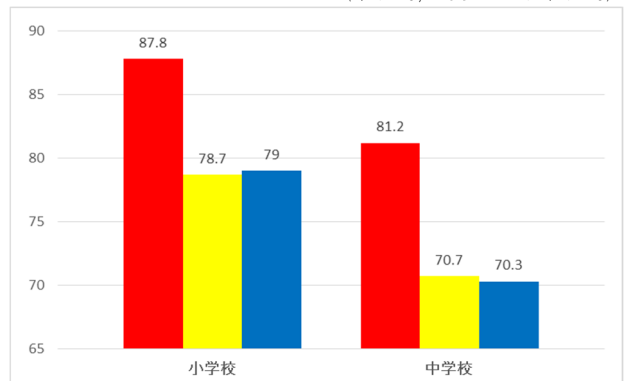
人の役に立つ人間になりたいと思えますか

(当てはまる)



難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



東員町では、学校に行くことが楽しいと思える子どもが多く見られます。これは、友達と一緒に学校生活を送る中で、共に学んだり遊んだり活動したりすることへの意欲の高さとも捉えられます。

全国や県と比べても、将来の夢や希望をもって、意欲的に日々生きている子どもや、人の役に立つ人間になりたいと思える子どもが多く見られます。また、何事にも失敗を恐れずに挑戦できる意欲も育っています。

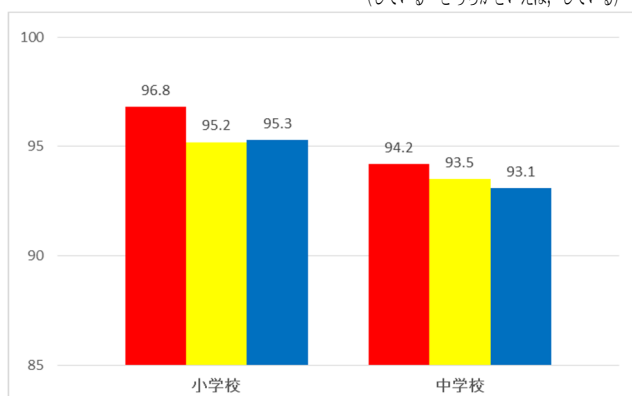
将来の夢や目標を持つことは、子どもにとって最大のやる気スイッチになります。東員町では、「16年一貫教育プラン」の実践として、「親子クッキング」「運動プログラム」（幼稚園保育園）、「とういん学び検定」「東員なわとび検定」（小学校）、「弁当の日」（小学校6年・中学校）、近隣の高等学校生徒による「ものづくり出前授業」（小・中学校）、そして「読書登山」「ぼく未来、私の未来ファイル」（全園校）などに取り組んでいます。この実践を通して、家庭・地域と園・校が一体となり、子どもたちの“生きる力”につながる意欲を育てています。

また、人の役に立ちたいと思える子どもが多いことは、東員町の教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）」の実現に向かって前進していると捉えることができます。

子どもの権利に関すること

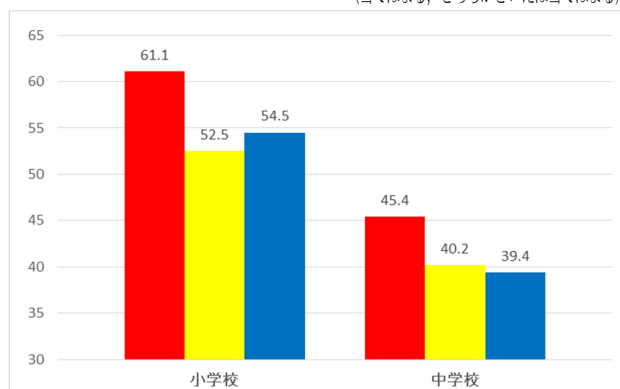
朝食を毎日食べていますか

(している・どちらかといえば、している)



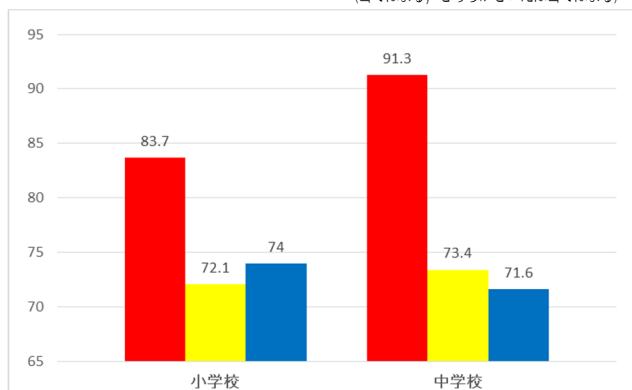
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



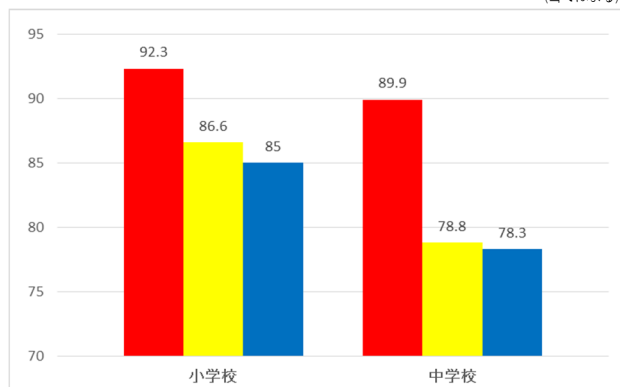
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

(当てはまる)



東員町では、子どもたちが生き生きと自分らしく成長していくために『子どもの権利条例』があります。そこには、①愛される権利 ②守られる権利 ③育つ権利 ④共に生きる権利 ⑤自分らしく生きる権利 ⑥意見を表明し参加する権利 という大きな6つの柱があり、子どもたちの大切な権利が尊重されています。

子どもたちの生活や学習を保障するためにも、毎朝朝食を食べて元気に一日をスタートすることはとても大切なことです。そして、東員町のほとんどの子どもが「朝食を食べている」という回答をしていることは、乳幼児期から「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に、基本的な生活習慣の確立に力を入れてきた成果と捉えることができます。

また、学級内（学校内）だけでなく、地域や社会をよりよくしたいという思いが持てる子どもは、全国や県と比較しても数多く見られ、子どもの自主性・自律性・公共性も育まれています。

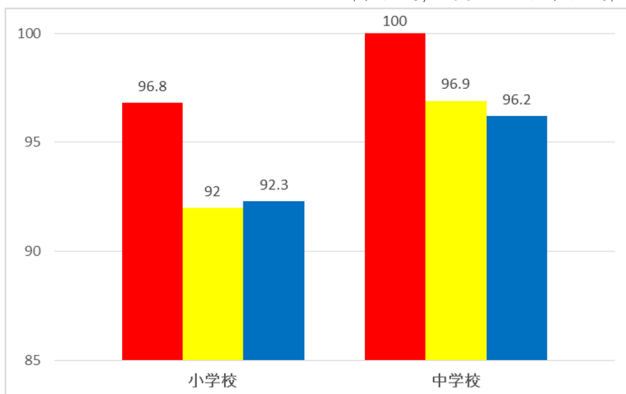
東員町のほとんどの子どもは、“いじめは絶対に許さない”という態度を持ち生活しています。しかし、まだ一部の子どもはそうとはいええない現状もあります。

すべての子どもたち一人ひとりが大切にされ、大人に見守られながら、生き生きと生活できるように、東員町では「子どもの権利」の保障に努めています。

学校生活や学習に関すること

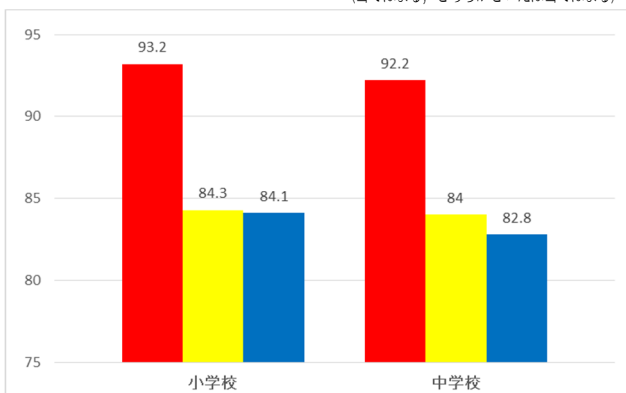
学校のきまり（規則）を守っていますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



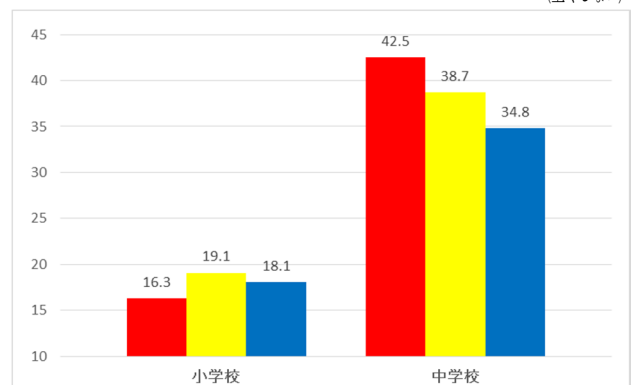
学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに取り組み、うれしかったことがありますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



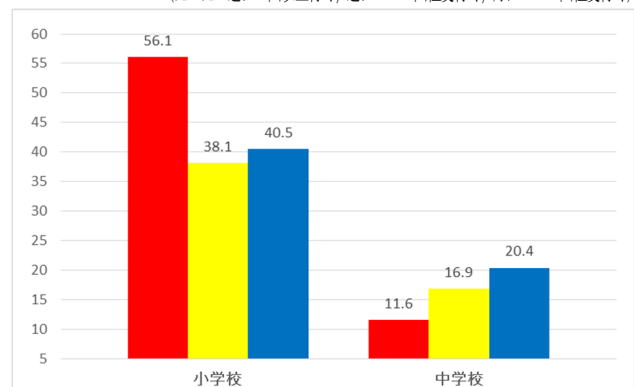
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

(全くしない)



昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

(だいたい週に4回以上行く、週に1~3回程度行く、月に1~3回程度行く)

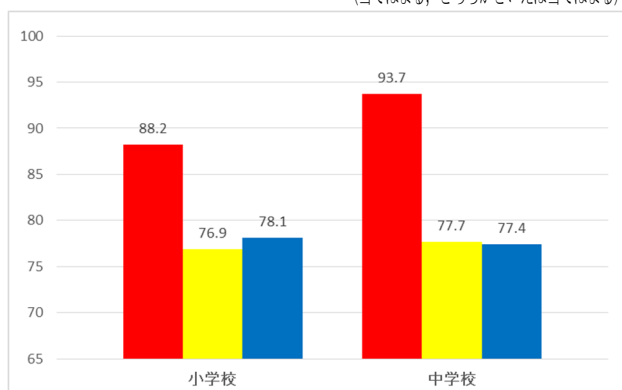


東員町の子どもたちは、学校生活の中できまりを守り、楽しく生活できているといえます。さらに、小学校の児童会や中学校の生徒会を中心に、自分たちの学校生活を見直しよりよくなる活動を積極的に引ったり、ルールやきまりを作りや学習・生活環境を整えたりするなど、その意識の高さが着実に行動につながっています。

読書については、これまで乳幼児期（乳児・園児）から「朝読書（絵本の読み聞かせ）」「読書登山」に取り組み、読書が習慣化されています。授業外の時間に全く読書をしない子どもは、全国や県と比較すると、小学校ではやや少ない傾向が、中学校ではやや多い傾向が見られます。また中学校では、授業外に1日当たり30分以上読書をする生徒の割合（28%）が全国（27%）や県（24.2%）と比べてやや多い結果を踏まえると、授業外の読書時間に二極化が見られ、これは全国的に見ても中学生の読書離れが進んでいるといえます。読書時間は知識や見識を広げ、心を耕す時間であり、国語科を中心にすべての学習での「読解力」「書く力」を支えるものでもあります。東員町では、授業での読書活動を充実させるとともに、学校図書館専門員と連携しながら、子どもたちの読書の充実に向けていきます。

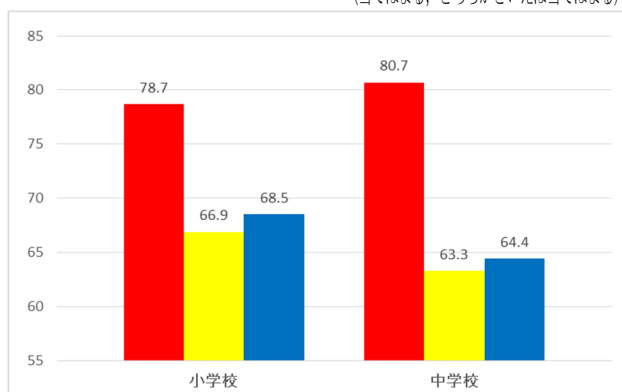
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



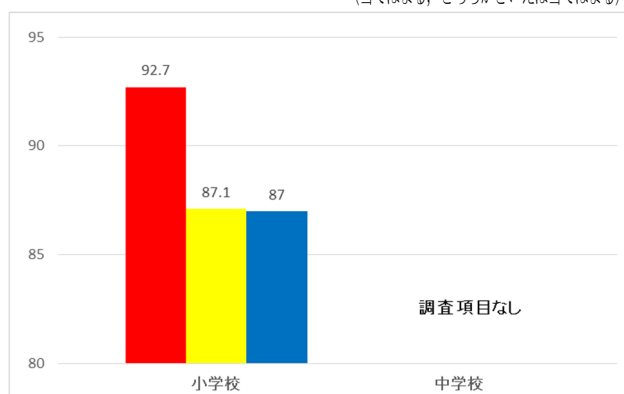
国語の授業で自分考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



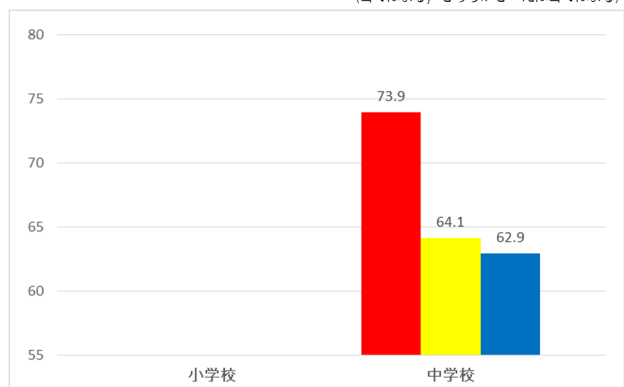
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



東員町では、新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業が進められ、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を育む教育に力を入れています。子どもたちは主体的に考え、判断し、表現する学習を通じて、教え教えられる友達との学び合いにより、上記に示した資質や能力を高める学習に取り組んでいます。調査結果から、子どもたちは様々な教科において、「話す・聞く・書く・伝える」などの対話的表現活動を意識し学習する中で、意欲的に友達との関わり学習する姿があります。